

(独)防災科学技術研究所と協力し、防災に関するインターネットサイト「小林市ポータル」を実験的に運用しています。市内の自主防災組織が作成した防災マップなどを閲覧できます。市民協働による防災の取り組みをのぞいてみませんか。(問：小林市市民活動支援センターTel.27-3177)



**News** グローバルキッズ事業  
 将来の夢見つけるきっかけに  
 市立病院で見学・体験



看護師の制服を着て、内視鏡を体験する様子。10月には、小林看護医療専門学校で実施する予定です

**将** 来の夢を見つめるきっかけづくりのため、市内の高校や企業などと連携して実施する「グローバルキッズ事業」の医療コースが、8月20日、市立病院でありました。市内の小学5年から中学3年までの子どもたちが参加し、病院内の見学や血圧測定、内視鏡の操作などを体験。参加した三松中3年の窪蘭奈々美さんは「将来、看護師になりたいという思いが強くなりました」と話していました。

**News** 地域医療  
 西諸医療圏に対する支援求め  
 3万233筆の署名集まる

**地** 域医療を考える会が発起人となって実施した「命と暮らしを守る西諸医療圏・安心できる医療体制の確保を求める要望」署名活動に3万233筆の署名が寄せられました。8月18日、小林市・えびの市・高原町の市長や議長、小林市区長会長や小林保育会長とともに、河野俊嗣宮崎県知事に署名簿を提出。救急や入院への対応が困難な小児医療を始め西諸医療圏への支援を訴えました。



署名簿を前に県知事に要望事項を訴える地域医療を考える会の山下浩司会長（手前）

取り組みを紹介します

**きずな協働体** 今月は、須木地区



『四季折々の花』で、美しい『花のむら』に

**須** 木の国道265号沿線には、「四季折々の花」が咲いています。これは、すきむらづくり協議会の「むらづくり部会」が、須木を訪れた人に癒しを提供したいと、年間を通じて花を植栽したものです。今年も国道沿線にパンジー・ヒマワリ

などたくさんのお花を植栽しました。植栽した花は、除草、害虫駆除など各班に分かれて管理しています。むらづくり部会では、各地区の民生委員さんやボランティアの方が主体となり、将来、癒しの里「花のむら」にしようと日々奮闘しています。

癒しのすき、花いっぱいのにすきに、皆さん、一緒に植栽していきましょう。

すきむらづくり協議会  
 むらづくり部会副会長  
 小野鈴代さん

# 協働により「九州一 安心安全なまち 小林市」を目指して

## こばやし協働 Info & News インフォ アンド ニュース

**News** 地方創生  
 若い力をまちづくりに  
 「若者ダイアログ」を開催



写真左) ダイアログの様子 右) 会議終了後には懇親会も開かれ、交流を深めました

**真** のこばやし創生をめざす市民会議「若者ダイアログ」が、7月28日、中央公民館で行われました。市内で働く若者約60人が参加。10班に分かれ、国が掲げる総合戦略の基本目標の一つである「若い世代の結婚・妊娠・子育ての希望をかなえる」をテーマにダイアログを行いました。活発な意見交換がなされ、参加者は交流を深めていました。ダイアログで出された意見は、総合戦略の策定などに生かしていきます。

**News** 消防団  
 第7分団第5部が優勝  
 西諸支部消防操法大会

**県** 消防協会西諸支部消防操法大会が、7月26日、細野の消防団訓練広場でありました。市大会で上位入賞した6つの部が3部門に出場。小型ポンプの部に出場した第7分団第5部が優勝しました。

【以下結果・3位入賞のみ】

- ポンプ車の部 = 第3位：第4分団第7部
- 小型ポンプの部 = 優勝：第7分団第5部、2位：第3分団第10部 ● 小型ポンプ積載車の部 = 第3位：第7分団第7部



小型ポンプの部で優勝した第7分団第5部。同部は、5年連続の優勝を果たしました

登録者数1万人目前！カウントダウン 8月20日現在：9783人



### 防災や防犯に役立つ情報届けます。「小林市防災・防犯メール」

災害や身近な防犯情報をお届けします。携帯電話やスマートフォンのカメラ機能で、QRコードを読み取り、本文に「ぼうさい」と入力し、送信すると登録できます。登録完了メールが届かない人は、防災メールなどを受信できない設定になっている場合が考えられます。「city.kobayashi.lg.jp」からのメールを受信できるよう携帯電話から設定するか、最寄りの携帯電話の販売店にて受信設定を行ってください。(問：危機管理課 Tel.23-1175)

